

# 世 界 史

## (問 題)

2006年度 早稲田大学国際教養学部

### 注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。
3. 解答はすべてマーク解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙の所定欄に氏名のみを記入すること。
5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	● 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

6. 問題冊子は持ち帰ること。

I 以下の各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問1 中世後期までのイギリスについて、以下の設問に答えなさい。

(1) 誤りを含む文章はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア ハドリアヌス皇帝は、大ブリテン島に長城を築き、辺境の防衛に努めた。

イ 紀元前8世紀頃から大ブリテン島に移住したケルト人は、ストーン＝サークルをはじめとする巨石建造物を築いた。

ウ カエサルが執筆した『ガリア戦記』は、当時のケルト人の生活を伝える貴重な史料としても知られている。

エ 1世紀に大ブリテン島はローマ帝国の支配下に入り、ローマ風の都市が各地に築かれた。

(2) 誤りを含む文章はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア ゲルマン人の一派、アングロ＝サクソン人が大ブリテン島に築いた7王国は、9世紀前半にアルフレッド大王によって統一された。

イ ゲルマン人の一派、ノルマン人は、9世紀後半の一時期、イングランドの大部分を支配下におさめた。

ウ 10世紀初めに北フランスに侵入し、ノルマンディー公国を建設したノルマン人の一派は、11世紀にイングランドを征服し、王朝をひらいた。

エ ケルト人の国、ウェールズは13世紀にイギリスに併合されたが、同地では現在もケルト系の言語が用いられている。

(3) 正しい文章はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア 第3回十字軍はイギリス国王およびフランス国王の参加を得て聖地回復に成功し、その結果、これら国王の国内における権威が高まった。

イ イギリスの王位継承権をめぐるバラ戦争をおさめたエドワード3世は、フランスの王位継承権を主張し、百年戦争を始めた。

ウ 14世紀イギリスでは、貨幣地代の浸透や相次ぐ戦乱、黒死病の流行を背景として、ヨーマンとよばれる独立自営農民層の解体が進んだ。

エ ルターによる聖書のドイツ語訳に先立ち、イギリスではウィクリフが聖書重視の教義を唱え、聖書の英訳を手がけた。

問2 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

イギリスの絶対王政が絶頂期を迎えたエリザベス1世時代は、**A**の役割抜きには語れない。彼らは地域社会を代表して下院を構成し、議会立法によって宗教改革の推進にも関わった。また、地方の名望家として治安判事等の要職につき、地方行政を処理する大役も担った。他方、15世紀末以降進行した囲い込みの推進力となり、しばしば工場経営も手がけて毛織物産業を育て、エリザベス朝の経済的繁栄に貢献した。

宗教内戦に疲弊した隣国フランスとは対照的に、16世紀後半のイギリスの安定と繁栄にこの階層が果たした役割は大きい。また、同時期、東インド会社やヴァージニアの創設に始まったイギリスの本格的な海外進出も、この階層の経済的関心と結びついた点が、重金主義の**B**、中継貿易の**C**といった競合国とは異なっていた。

(1) **A**に入る語を以下から一つ選びなさい。

ア ヨーマン イ ジェントリ ウ ブルジョワジー エ 大商人 オ 貴族

(2) 下線1について、エリザベス1世時代に再び制定され、イギリスにおける宗教改革の完成を画したものはどれか。以下から一つ選びなさい。

ア カトリック教徒解放法 イ 首長法 ウ 一般祈祷書 エ 宗教寛容令 オ 統一法

(3) 下線2がとくに第1次囲い込みと呼ばれるのに対し、後に第2次囲い込みと呼ばれる運動が起こっている。第2次囲い込みの背景は何か。以下から一つ選びなさい。

ア 新大陸への食料輸出の増大。

イ 第1次産業革命による羊毛需要の増大。

ウ 新しい輪作農法の開発。

エ 穀物法の廃止。

(4) 下線3を収拾した人物について誤りを含む説明はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア 新教から旧教に改宗した。

イ 新教徒の聖職者に暗殺された。

ウ ブルボン王朝をひらいた。

エ 婚礼の日に虐殺事件が起きた。

- (5) **B** に関する説明として誤っているものはどれか。以下から一つ選びなさい。

ア 大量の銀を新大陸からヨーロッパにもたらし、物価暴落を引き起こした。  
イ 新大陸の鉱山では、アフリカ出身の黒人奴隷を労働力として用いた。  
ウ 太平洋航路を用い、新大陸の銀と中国の陶磁器・絹織物を交換した。  
エ 新大陸への毛織物輸出の中心地であったアントワープを占領した。

- (6) イギリスが **C** に打撃を与えたのは何によってか。以下から一つ選びなさい。

ア 私掠特許状    イ アルマダ海戦    ウ 航海法    エ 大陸封鎖令    オ アンボイナ事件

問3 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

中世以降のイギリスの歴史は、国王の権力に対する戦いの歴史である。征服王朝として始まったノルマン朝、つづくプランタジネット朝は、当時のヨーロッパでは例外的な中央集権体制を築いたが、13世紀、当時の国王の度重なる失政に対して貴族が立ち上がり、国王に **A** を認めさせた。さらに **A** を守らなかった次代の王に対して反乱が起こされ、その結果、1265年に議会が誕生する。つづくテューダー朝では、国王は反対派の取り締まりや中央集権化を仮借なく進める一方、議会についてはむしろこれを重用する傾向にあった。

17世紀の一連の革命は、議会を無視し、専制とカトリック擁護に傾いたステュアート朝の国王への反乱という性格もっていた。1628年、議会は国王を批判し、国民の歴史的な権利を確認する **B** を可決し、1642年には遂に議会派と王党派の間に内戦が始まった。この内戦の結末は、共和政とは名ばかりのクロムウェルによる軍事独裁であり、クロムウェルの死はただちに王政への復帰をもたらした。しかしその後も、国王と議会の対立は続き、議会は国王のカトリック擁護に対して公職就任を国教徒に限る審査法を定めて対抗し、また **C** によって市民的自由を保証するなど、王権を制限する立法を積み重ねていった。それでもなお絶対王政の復活とカトリック擁護を試みる次代の国王に対し、1688年、イギリス議会は遂に退位を強い、国王の新教徒の娘とその夫をオランダから招いて王位に就ける。このとき議회가制定した文書が国民の生命・財産の保護等をうたった **D** であり、ここに議会主権にもとづく立憲王政が一応の確立を見たと言われる。

しかし、これで国王と議会の対抗関係がやんだわけではない。つづくハノーヴァー朝の下では当初、外国出身の君主の下、責任内閣制が成立し、議会の力が強まったが、18世紀後半には王権の強化を試みる国王が登場し、議会と鋭く対立する。イギリスの二大政党制は、こうした国王と議会の対抗関係から生まれたものであった。

- (1) **A** から **D** に入る語の組み合わせを以下から一つ選びなさい。

ア	<b>A</b> 大憲章	<b>B</b> 権利の請願	<b>C</b> 人権宣言	<b>D</b> 権利の章典
イ	<b>A</b> 人身保護法	<b>B</b> 大憲章	<b>C</b> 人権宣言	<b>D</b> 権利の章典
ウ	<b>A</b> 大憲章	<b>B</b> 権利の請願	<b>C</b> 人身保護法	<b>D</b> 権利の章典
エ	<b>A</b> 権利の章典	<b>B</b> 権利の宣言	<b>C</b> 人民憲章	<b>D</b> 大憲章
オ	<b>A</b> 権利の請願	<b>B</b> 権利の宣言	<b>C</b> 人身保護法	<b>D</b> 大憲章

- (2) 下線 1 について、正しい説明はどれか。以下から一つ選びなさい。

ア 大貴族と聖職者の代表が集い、国王の戦費の調達に承認を与えた。  
イ 大貴族と聖職者代表に加え、州の代表と都市の代表が参加した。  
ウ 二院制をとっていた。  
エ 模範議会と呼ばれた。

- (3) 下線 2 について、この法律の廃止に尽力した人物は誰か。以下から一人選びなさい。

ア ウィリアム3世    イ アン女王    ウ ジョージ1世    エ オコンネル    オ ディズレーリ

## II 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

トルコ人君侯、オスマン率いるイスラム軍事集団が13世紀末、アナトリア西北部に興したオスマン朝が、20世紀初頭まで、長きに亘り繁栄を続けたイスラム大帝国、オスマン帝国<sup>1</sup>の起源である。オスマン朝は、西に向かって拡大するものの、1402年のアンカラの戦いで敗れ、一時衰退するが、15世紀半ばには、コンスタンティノープルを征服し、ビザンツ帝国を滅ぼし、欧州及び中東地域の主要大国の一つとなった。16世紀、スレイマン1世<sup>2</sup>の治世下で、オスマン帝国は最盛期を迎える。1526年、モハーチの戦いでハンガリーを破って、それを支配した。1529年には、神聖ローマ帝国<sup>3</sup>に攻め入り、神聖ローマ皇帝カール5世<sup>4</sup>の領地である帝都ウィーンを包囲し、西欧キリスト教社会に衝撃を与えた。

スレイマン1世<sup>4</sup>はオスマン帝国と友好関係を結んだフランスのフランソワ1世<sup>5</sup>に恩恵として、オスマン領内のフラン

ス人に対する治外法権、港湾での通商権などの様々な特権、いわゆるカピチュレーションを与えた。しかし、18世紀以降、オスマン帝国が衰退するにつれ、フランスなどヨーロッパ諸国はこのカピチュレーションを利用して、オスマン朝に介入するようになっていった。

問1 下線1に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア オルハンがブルサを占領し、首都とした。
- イ ムラト1世はバルカン半島に進出し、アドリアノーブルを占領した。
- ウ 常備歩兵軍団イエニチェリが創設された。
- エ メフメト2世はコソヴォの戦いでバルカン半島のスラヴ勢力を破り、バルカンの支配権を確立した。

問2 下線2に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい

- ア ムスリムに対する海賊行為を行っていた聖ヨハネ騎士団を攻撃し、マルタ島を奪った。
- イ サファヴィー朝から南イラクを奪った。
- ウ ミマリー＝シナンに命じて、イスラム建築を代表するスレイマン＝モスクを建立した。
- エ トルコ古典定型詩の確立者というべき詩人バーキーの良き理解者であった。

問3 下線3に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア スイスを領有していたハプスブルク家に反抗すべく3州が同盟を結び独立運動を開始した日が、現在のスイスの独立記念日となっている。
- イ グレゴリウス7世は、聖職叙任権を巡って、ザリエル朝のハインリヒ4世を破門し、一旦は屈服させるが、後に反撃され、ローマから追放された。
- ウ カール4世は、金印勅書を発布して、7人の選帝侯を設けた。これにより、選帝侯による皇帝の選出制度が公式に明文化された。
- エ 962年、カロリング朝のオットー1世がローマ教皇ヨハネス12世より帝冠を受けた。

問4 下線4に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア トリエント公会議で、ルター派とカトリック教会との一時的な和解が実現した。
- イ ハプスブルグ家出身の最初のスペイン王である。
- ウ プレヴェザの海戦でオスマン帝国に敗れ、地中海の制海権を失った。
- エ オスマン朝の攻撃をしのぐために、ルター派の信仰を一時的に認めた。

問5 下線5に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア カルロス1世との神聖ローマ皇帝選挙で敗れた。
- イ イタリア戦争における1525年のパヴィアの戦いで捕虜となった。
- ウ ユグノー戦争で国内の新教派を保護した。
- エ レオナルド＝ダ＝ヴィンチなどの芸術家を保護した。

問6 下線6に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア レパントの海戦でオスマン艦隊はスペイン連合艦隊に敗北し、地中海の覇権を失った。
- イ 1683年に行った第二次ウィーン包囲は失敗に終わり、カルロヴィッツ条約によりオスマン帝国は領土の一部を失った。
- ウ 18世紀後半、ロシア皇帝エカチェリーナ2世の侵攻を受けたオスマン帝国は、キュチュク＝カイナルジ条約によってクリム＝ハン国を失った。
- エ ギリシア独立戦争の際にイタリア海軍がギリシア側に介入し、オスマン帝国の主力艦隊を壊滅させた。

### Ⅲ 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

国境は自然発生的に生じるものではなく、国家間において戦争や外交交渉を通して人為的に確定された境界である。このことは、17世紀に中国に清朝が成立してからの経緯をみても、理解できる。

明の滅亡後、その遺臣たちが各地で清朝とたちむかい、その復活に努めた。その一人、鄭成功<sup>1</sup>は、1661年、城塞を築き台湾南部に進出していた 2 を破り、ここを根拠地として抵抗を続けた。しかしながら、三藩の乱を平定した清は1683年鄭氏一族を降し、台湾をその版図に編入した。ここに清の支配体制の基盤が確立したのである。

その一方で、北方においては、15世紀末キプチャク＝ハン国の支配から脱したモスクワ大公国が諸公国を征服、統一を進めた。 3 はコサックの首長イェルマークに命じて、シベリア進出に着手した。このシベリア経営はロマノフ

朝となつてからも継続された。17世紀半ばには黒竜江を下り、アルバジン城を築いて中国東北地方侵略への足がかりとした。一方、清の 4 は強硬策をとり、アルバジン城を激しく攻撃し、ロシア軍に対して退去を要求した。その結果1689年、 5 との間にネルチンスク条約を結んだ。

また、 7 は大軍を率いてジュンガル軍と闘い、外モンゴルと青海をその支配下におき、さらに 8 を服属させた。他方ロシアは商業を通して外モンゴルに影響力を拡大した。これに対して 9 は1727年キャフタ条約を結び、アルゲン川よりアルタイ山脈に至るモンゴル方面の国境を画定し、北京との通商、交易場の設置などを取り決めた。そして 10 はジュンガル部を滅ぼし、東トルキスタンの回部を服属させ、ここは 11 と命名された。こうして対外発展を遂げた清朝は、直轄支配を行う中国内地・東北地方（満州）・台湾のほか、モンゴル・青海・ 8 ・ 11 を藩部として理藩院に統括した。

しかしながら、19世紀半ばには、清は西欧列強の侵略と国内の反乱に苦しんだ。これに乗じてロシアの 12 は、清と 13 条約を締結し、黒竜江を新たな国境線と定めた。また、ロシアはアロー戦争に際し、清と英・仏との間を仲介し講和条約を成立させた。その代償にロシアと清との間に1860年北京条約が結ばれ、ロシアはウスリー川以東の 14 を獲得した。その直後、ロシアは同地に 15 港を建設し、極東・太平洋方面の拠点とした。

また、ロシアは日清戦争直後の下関条約に対してドイツ・フランスとともに異議を唱えた。そのため、日本は遼東半島を清に返還した。ロシアは見返りに清より東清鉄道の敷設権を獲得し、1898年には清に 16 ・ 17 の租借を認めさせた。

17世紀から18世紀にかけて清朝は領土を拡大し、パックス・シニカの時代を現出させたが、帝国主義の時代には、西欧列強や日本などにより、国境は変更され、その支配する領土は縮小していったのである。

問1 下線 1 の人物に関連し、正しいものを一つ選びなさい。

- ア 明の滅亡後も明朝再興に努め、父鄭芝竜とともに台湾に拠点を築いた。
- イ 沖縄で生まれたこともあり、琉球王国より多大の援助を受けた。
- ウ 清朝は遷界令を出し、鄭氏の台湾と交流した。
- エ 呉三桂らの三藩の乱を支援した。
- オ 日本では近松門左衛門の人形浄瑠璃『国性（姓）爺合戦』を通じて、知られている。

問2 2 に入る最も適切な語句を一つ選びなさい。

- ア オランダ    イ スペイン    ウ ポルトガル    エ イギリス    オ 日本

問3 3 、 5 に入る人物ついて、適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 3－イヴァン3世      5－ピョートル1世
- イ 3－イヴァン3世      5－アレクサンダー1世
- ウ 3－イヴァン4世      5－ピョートル1世
- エ 3－イヴァン4世      5－アレクサンダー1世
- オ 3－ピョートル1世      5－アレクサンダー1世

問4 下線 6 の条約の説明として、誤っているものを一つ選びなさい。

- ア イエズス会士も通訳として条約会議に参加した。
- イ アルゲン川と外興安嶺（スタノヴォイ山脈）を境とする国境画定が行われた。
- ウ 通商交易を禁止した。
- エ 越境者の処理を取り決めた。
- オ 清が外国と対等の立場で結んだ最初の条約である。

問5 4 、 7 、 9 、 10 には、清朝皇帝の名前が入る。適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 4－康熙帝      7－康熙帝      9－康熙帝      10－雍正帝
- イ 4－康熙帝      7－康熙帝      9－雍正帝      10－乾隆帝
- ウ 4－康熙帝      7－雍正帝      9－乾隆帝      10－乾隆帝
- エ 4－雍正帝      7－雍正帝      9－乾隆帝      10－乾隆帝
- オ 4－雍正帝      7－乾隆帝      9－乾隆帝      10－乾隆帝

問6 8、11 にはそれぞれ地域の名称が入る。適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 8－チベット 11－新疆
- イ 8－新疆 11－チベット
- ウ 8－チャハル 11－新疆
- エ 8－チベット 11－チャハル
- オ 8－新疆 11－チャハル

問7 12 には皇帝の名前が入るが、その皇帝の説明として正しいものを二つ選びなさい。

- ア イェルサレムの聖地管理権を要求し、クリミア戦争を開始した。
- イ 国際情勢の緊張を緩和するため、万国平和会議を提唱した。
- ウ 自営農民出現の契機となった農奴解放令を發布した。
- エ ロシアからの独立を求めたポーランドの反乱（一月蜂起）を弾圧した。
- オ デカブリストの反乱を鎮圧した。

問8 13 に入る語として、適切なものを一つ選びなさい。

- ア アイグン イ 天津 ウ 望厦 エ 黄埔 オ イリ

問9 14、15 に入る語として、適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 14－沿海州 15－ウラジヴォストーク
- イ 14－沿海州 15－イルクーツク
- ウ 14－沿海州 15－ナホトカ
- エ 14－新義州 15－ウラジヴォストーク
- オ 14－新義州 15－ハバロフスク

問10 16、17 に入る地名として、適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- ア 16－大連 17－青島
- イ 16－大連 17－旅順
- ウ 16－威海衛 17－旅順
- エ 16－威海衛 17－大連
- オ 16－旅順 17－青島

#### Ⅳ 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

これまで、近現代の世界の歴史は、陸の領土国家（国民国家）間関係を主として取り扱った。アジアの歴史及び将来を考える場合、陸のみを関心の対象としていては、十分な理解は得られない。歴史的に、アジア世界の国際秩序は、中国を中心とする朝貢-冊封体制<sup>1</sup>によって特徴づけられる。そして、その基盤となっていたのが東洋世界と西洋世界をつなぐ広大な海洋のネットワークであり、中国とその朝貢国などを中心とする朝貢貿易体制は、このネットワークと密接に結びついて発展したのである。すなわち、アジアの諸地域は複数の海域圏によって結ばれ、これら海域圏の周縁諸国・地域・交易都市が、広範な海洋のネットワークを形成した。それぞれの海域圏には交易圏が出来、それらの接続点に位置する国・都市は中継貿易で栄えた。アジアの交易圏は、さらに、インド洋交易圏<sup>2</sup>、そして地中海交易圏と連鎖してヨーロッパへも開けていた。また、ネットワークの担い手としてさまざまな商人集団<sup>3</sup>が活躍したが、なかでも、華僑<sup>4</sup>が歴史的に蓄積してきた貿易・金融・移民のネットワークは、近現代のアジアの政治・経済においても重要な役割を果たしている<sup>5</sup>。

問1 下線1の体制においては、中国周辺の国・民族の首長が中国皇帝に臣従して貢物をもって来ると、皇帝は回賜と呼ばれた返礼品を与え、これに国王などの位階を授けた。以下から誤っているものを一つ選びなさい。

- ア 中国と朝貢国との関係は、どちらかの君主が代わるたびにあらためて結び直された。
- イ 中国と朝貢国の間、また、朝貢国同士の間には、不平等な国際関係が維持された。
- ウ 中国は各朝貢国から一年に一回貢使を受け入れた。
- エ 中国は朝貢国の内政・外交に対して、不干渉を原則とした。

問2 下線1の体制では、中国からは絹、銀、銅銭などが、朝貢国からはそれぞれの特産品などが交易で取り扱われた。これにより、政治的経済的に優位に立つ中国の通貨が周辺地域に広く普及し、中国を中心とする交易圏が形成された。朝貢国から中国へもたらされた主なものは何か。以下から誤っているものを一つ選びなさい。

- ア 蘇木 イ 暦 ウ 香料 エ 米

問3 下線2について、次の問に答えなさい。

14世紀後半、明から冊封をうけて王国となり、明・清の海禁政策下、東シナ海交易圏と南シナ海交易圏を媒介する中継貿易で繁栄したのはどこか。

ア 台湾 イ 琉球 ウ 香港 エ シンガポール

問4 下線3について、次の問に答えなさい。

南シナ海交易圏は中国、東南アジア、インド洋地域を結んでいた。16世紀以降、オランダ、スペインとともにこの海域に拠点を築き、交易への参入を図ったヨーロッパの国はどこか。

ア フランス イ ドイツ ウ ポルトガル エ イタリア

問5 下線4について、次の問に答えなさい。

交易の主たる担い手であったムスリム商人は、中国商人と各地で中継貿易をおこない、ヨーロッパ産の毛織物、中国産の絹織物、インド産の香辛料などを運搬・取引した。ムスリム商人が用いた木造船は何とよばれたか。

ア カラック船 イ ダウ船 ウ ガレオン船 エ ジャンク船

問6 下線5について、次の問に答えなさい。

アイユーブ朝・マムルーク朝前半期、地中海とインド洋の交易圏を結ぶ交易で繁栄したカーリミー商人とはどのような集団であったか。

ア カイロなどを拠点とし、イスラム文化の保護者として重要な役割を果たしたムスリム商人集団

イ 中国からの陶磁器輸出を独占し、陶磁の道の主役であった華僑商人集団

ウ ヴェネチアなどを拠点とし、十字軍の輸送を手がけて発達したイタリア商人集団

エ インド産綿製品のヨーロッパへの輸出を担った印僑商人集団

問7 下線6について、次の問に答えなさい。

明が14世紀後半以降、海禁政策をとった理由のひとつは、海賊・商人集団であった倭寇による密貿易の取り締まりである。後代、16世紀中心の後期倭寇とはおもにどの集団であったか。

ア 越南人 イ 琉球人 ウ 朝鮮人 エ 中国人

問8 下線7について、次の問に答えなさい。

海禁令を犯して、おもに東南アジア方面に移住し、金融・商業ネットワークを築き上げた南洋華僑（華僑）の主たる出身地は福建とどこか。

ア 寧波 イ 蘇州 ウ 杭州 エ 広東

問9 下線8について、次の問に答えなさい。

孫文は滞在先のハワイで、華僑を中心とする政治結社を組織し、反清革命運動を展開した。この政治結社の名前は何か。

ア 興中会 イ 中国同盟会 ウ 光復会 エ 華興会

問10 下線8について、次の問に答えなさい。

2002年のアジア域内貿易の54%は、中国を中心とする大中華圏を基点とする。この広域経済圏を支えるのが、華僑のネットワークである。中国、香港、台湾とともに、現代の大中華圏の中核をなすのはどこか。

ア マレーシア イ ベトナム ウ タイ エ シンガポール

## V 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

20世紀は「戦争と対立の世紀」といわれた。第一次世界大戦<sup>1</sup>は、塹壕と鉄条網に特徴付けられた凄惨な戦であり、戦勝国にも敗戦国にも、甚大な被害をもたらした総力戦であった。その休戦協定から、わずかな休止期を経て勃発した第二次世界大戦<sup>2</sup>は、歴史上のあらゆる戦争を凌駕する夥しい数の人的被害を引き起こした。第二次大戦において、連合国側の勝利に大きく貢献したアメリカとソ連は、大戦末期から戦後処理の問題をめぐる対立を強め、冷戦<sup>3</sup>へと発展していった。第二次世界大戦の終結は、世紀末まで続く国際社会の構造をも作り出した。

戦争と平和の問題<sup>4</sup>は、主権国家の併存を前提とする国際社会の歴史において、常に対外関係の中核をなしていた。この問題は、今もなお、国際社会が取り組むべき最大の課題である。20世紀の教訓が生かされて、戦争や武力紛争をなくし、長続きのする平和と安定を実現し、維持していくことは如何にして可能なのであろうか。

問1 下線1に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 第一次世界大戦時、偏狭なナショナリズムにより敵国語追放や外国人スパイ狩りなどが行なわれた。

イ 第一次世界大戦を通じて、ドイツ、オーストリア＝ハンガリー、ロシア、オスマン帝国の四つの帝国が減った。

ウ ウィルソンは、1918年1月、「14カ条宣言」(14 Points)を発表し、その中で集団安全保障に則った国際平和機構の結成の必要性を訴えた。

エ 1917年の血の日曜日事件で、ニコライ2世は退位し、ロマノフ朝が崩壊した。

問2 下線1に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア ドイツの賠償金支払いの遅延を理由にフランスは、ベルギーと共にルール工業地帯を占領した。

イ 国際連盟発足当初の常任理事国は、日本、フランス、イギリス、イタリアの4カ国であった。

ウ セーヴル条約によってオスマン帝国はヨーロッパ側の領土の大部分とメソポタミア・パレスチナ・シリアなどを連合国に割譲し、ムスタファ・ケマル臨時政府はこれを承認した。

エ ドーズは、ドイツ賠償問題を処理するために、アメリカの資本を投入してドイツ経済の復興を支援するという計画を提案した。

問3 下線2に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 1933年、ヒトラーは議会において全権委任法を可決させ、合法的に独裁権を獲得する。これへの抗議として国会議事堂放火事件が起こった。

イ エチオピア侵略に対する国際連盟の制裁により国際的に孤立したイタリアはドイツに接近し、スペインのフランコ支援等で一致し、ドイツと同盟関係を結んだ。

ウ ヒトラーは、ミュンヘン会談で民族自決権を主張し、ドイツ系住民の多いチェコスロヴァキア西部のズデーデン地方の即時割譲を求めた。

エ イギリス、フランス、イタリアはドイツの再軍備宣言を非難したが、1935年にイギリスはドイツと英独海軍協定を結び、ドイツの潜水艦の保有を認めた。

問4 下線2に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 1939年、独ソ不可侵条約締結後、ドイツとソ連が、それぞれポーランドに侵攻し、ポーランドを二分していった。

イ 1939年、ドイツ軍がポーランド侵攻を開始し、イギリスとフランスが宣戦し、第二次世界大戦が始まったが、ドイツとイギリス、フランスとの間の本格的な軍事衝突は暫くの間なかった。

ウ ド・ゴールは、亡命先のロンドンで対ドイツ抗戦を叫び、「自由フランス政府」の樹立を宣言した。

エ デンマーク、ノルウェー、オランダ、ベルギーを占領するというドイツ軍の戦果を見て、イタリアとスペインは40年にイギリス、フランスに宣戦した。

問5 下線3に関して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア マーシャル国務長官が1947年に発表したヨーロッパへの経済援助計画は、当初ソ連と東欧諸国をも対象としていたが、スターリンは拒否し、東欧諸国に受け入れないよう圧力をかけた。

イ 1946年、イギリスのチャーチル前首相は、アメリカのミズーリ州フルトンで「鉄のカーテン」演説を行なった。

ウ 1948年、アメリカ、イギリス、フランスがドイツの占領地域において通貨改革を実施すると、ソ連も対抗してベルリンに通じる一切の鉄道・道路・水路を封鎖した。

エ ソ連は1955年の西ドイツの再軍備とNATO加盟に対する報復手段として、1955年にワルシャワ条約機構を結成すると共にベルリンの壁を築いた。

問6 下線4に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 1944年、アメリカ、イギリス、フランス、中華民国、ソ連の代表がワシントン郊外のダンバートン＝オークスで会議を開き、現在の国際連合憲章の原案を作成した。

イ 1956年のスエズ危機において、ハマースホルド国連事務総長は、カナダのピアソン外相と共に、国連平和維持軍をイスラエル軍とエジプト軍との間に投入して、両軍を引き離す案を立てた。

ウ 1990年の湾岸危機の際、海部内閣は、自衛隊の多国籍軍への後方支援を可能にする「国際連合平和協力法案」を提出するが、結局廃案となる。

エ 朝鮮戦争の際、国連安保理決議に基づき「朝鮮国連軍」が組織され、派遣された。これは、ソ連代表が中華民国の代表権の問題を理由に安保理をボイコットしていた為に可能となった。

〔以下 余 白〕